

“ほっこり朝市” 始めました！

大原自治区会

わが大原自治区会は、市営大原団地にあり、高齢者が多く住んでいる地域です。スーパーまで遠く、買い物の帰りは荷物があるため、タクシーを利用する人も多くいます。

このたび、団地内の集会所に「JA北九かっぱの里」の移動販売車を招き、新鮮な野菜・肉・魚などの販売をはじめました。“ほっこり朝市”と名付け、毎週火曜日10：30から11：30まで行っています。大原自治区会はもちろん、近くの馬場自治区会や足水自治区会からも高齢の方が来られ、毎週100名程の人で賑わっている地域自慢の移動販売所となっています。

この移動販売は、大原校区社会福祉協議会、大原自治区会、有限会社清水福祉サービス、JA北九かっぱの里の協力で「買い物支援事業」として行っています。また、八幡西区役所保健福祉課、八幡西区社会福祉協議会のサポートもあり、皆様の協力のもと実現しました。

大原自治区会は4年前、多くの会員の脱退で崩壊寸前でした。規模・予算は縮小され、脱会をのぞむ声が多くなりましたが、地域の人に集ってもらい、住民同士のつながりの大切さや、自治区会・町内会の役割などを伝え、現在に至っています。

現在、公園には防犯カメラが設置されています。また、2年がかりでごみステーションを道路から団地内に移動させるなど整備しました。小さな子を持つ役員のために、会議では子どもたちの遊ぶフロアも用意し、30～45分で終わるような工夫をしています。これからも地域住民だけでなく役員にも優しい自治区会・町内会をめざし、地域が良くなるための活動を続けていきたいと思えます。

